

# 地域包括ケア市民フォーラム

## ～おうちっていいよね～

日時：令和元年11月30日 場所：気仙沼プラザホテル 参加者：221名

病気や障がいがあったとしても住み慣れた「我が家で」暮らすためには、お互いの気遣いや手助けが大切です。地域で楽しく暮らすコツをご紹介します。

### みんな違って、みんないいを実現するために



気仙沼市立本吉病院  
病院長

齊藤 稔 哲 氏

障害に対する考え方を整理する上で、WHOが制定した国際

障害分類と国際生活機能分類の違いに目を向けてみた。国際障害分類は、障害を機能・形態障害、能力障害、社会不利の3つのレベルに分けてとらえ、障害の克服や残存する障害に対する支援に主眼が置かれたため、健常者の社会に障害者が適合するための支援という面があった。この点の反省を含め国際生活機能分類が制定された。この分類では障害の克服の視点を残しつつ、障害が残存しても社会活動が健康的になされるように、だれもが参加できる環境の整備に力点が置かれるようになった。ここでいう環境とは設備だけを指すのではなく、社会に参加するすべての人も含み、障害を持つ方が、そのほかの多くの方の暮らし方に合わせるのではなく、障害を一つの特性ととらえ、どのような特性を持っていても、全ての人が仲良く、楽しく、生きがいを持って生活していけるように努力することが望まれている。

## 1 人工肛門で突然困ったときの対処法

オストミー協会宮城県支部 副会長

石川 尚 美 氏



私は2005年9月、52歳の時直腸がん手術から突然人工肛門を造設することになりました。自分の人生において全く考えたことも無い人工肛門を受け入れるには少々時間がかかりました。人工肛門というものがどのようなものであるかがわからなく、自分の身体を見るまでは想像がつかなかったのです。周囲にかなりの人工肛門造設者がいても洋服を着てしまうと外からはわからないために、自分から公表している人以外は気付かれないままで生活していけます。

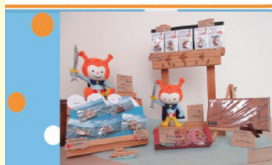
その為に悩みを持ちながらも一人で悶々としている方々も多く、気仙沼地区で個人的に相談会も行っていますが、造設する場所、種類、形状によって悩みの種類も全然違ってきますので十分な回答には及ばないと思っています。その上費用もかかり負担も大変で、現在各メーカーによって製品開発がされて数十年前とは格段の使いやすさになってはいますが、金額はかなり上昇し国で決まっている補助金の金額は30年前と同じ1ヶ月8600円、かなりの方たちがこの金額では収まらなくなっているのが現状です。

私の経験上最大に困ったことは突然の下痢。なれたところなら何とか対処も出来てきましたが、2年前にフランスに行ったときパリから5時間ほど高速バスに乗りモンサンミッシェルに行った時に名物のオムレツをランチで食べました。見学が終わり帰りのバスで突然下痢が始まりました。いつもの装具がもれ始めトイレに駆け込むことも出来ず、泣きそうになったことがありました。この経緯をストーマ看護師に話したら「そのような時はおむつをしていくと安心できます。」考えてもなかった答えでした。オムツは高齢になった方が使うものと思っていましたが、私たち人工肛門の障害者は時には必需品になる事、外からはわからないように暮らしていても不都合と隣合わせの状態なのだと感じる経験でした。

### 作品の販売

気仙沼・南三陸地域の  
7つの作業所に  
御参加いただきました

気仙沼市松峰園



HOPE GARDEN 気仙沼



働希舎かもみ〜る

